

デ、地面ハ落葉ニ覆ハレテ居タ。之恐ラク「植物分類、地理」第2卷 第3號ニ田川基二氏がいよほした *Dryopteris acuminata* NAKAI var. *Ogatana* TAGAWA トシタモノト同一ノモノナラント考定スルガ、兎ニ角奇態ナ存在デアル。尙コノ標本ハ東大植物學教室ノ腊葉室ニ入レテ置ク。

記附 尙本件ニ關シテハ更ニ一言スルツモリデアル。

## 日本産燈心草科植物圖說 (其四)

佐 竹 義 輔

YOSISUKE SATAKE: Icones of the Japanese Juncaceae (IV)

(2) 眞正ゐ亞屬 (9 卷、417 頁) = 續ク

11. ゐ、ゐぐさ、とうしんさう (第 22 圖及ビ第 23 圖、A-H)

*Juncus decipiens* NAKAI, Rep. Veg. Kamikochi (1928) p. 35.

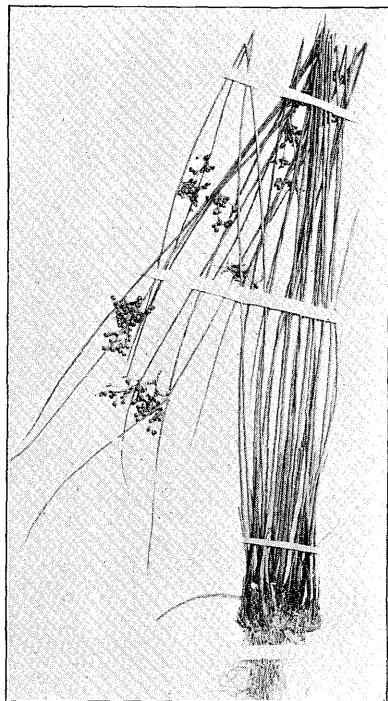
*J. effusus* var. *decipiens* BUCHENAU, Monogr. Juncac. (1890) p. 229, et Juncac. (1906) p. 136.

多年生、根莖ハ横走、節間ハ短イ。莖ハ圓筒狀デ不明縦溝アリ、高サ 25-60cm. 基部ノ直徑 1-2mm. 莖葉無ク、莖ノ下部ニ鱗狀莖アリ、長イモノハ淡赤褐色、短イモノハ褐色乃至黒褐色デ稍光澤ガアリ、根莖ノ鱗葉ハ卵形デ黒褐色ヲ呈スル。花序ハ假側生デ聚繖形ヲナシ、多數ノ花ヨリ成ル。最下苞ハ莖狀デ長サ 10-20cm. ニ達スル。花ハ淡綠色、熟シテ褐色トナル、萼共ニ長サ約 2mm. 花被片ハ披針形デ銳頭、背部ハ綠色、邊緣ハ淡色膜質、ソノ境界ハ褐色ヲナシ明カナ脈ヲナシテキル。ソシテ、背部ノ中央ニモ明瞭ナ脈が見ラレ、結局、花被片ニハ明カニ 3 脈アル事ニナル。此點ガ外國産ノ *Juncus effusus* ト異ナル性質ノ一ツデアル。内外片ハ同形同長デアル。雄蕊ハ 3 本、花被ヨリ少シ短ク、葯ハ長橢圓形デ花絲ト稍同長又ハ少シ短イ。蒴果ハ卵狀橢圓形、鈍頭、先端微ニ突出スルモノガ多ク (コノ點歐州産 *J. effusus* ト異ル)、褐色、完全ニ 3 室ヲナス。心皮ハ卵狀橢圓形デ、外面表皮ハ厚膜トナルガ内面表皮ハ然ラズ、隔膜ノ先端ハ帽狀ヲナシテキル。裂開部ノ細胞ハ木質化スル。種子ハ斜倒卵形又ハ斜橢圓形デ凸頭凸底、長サ 0.5mm. 幅 0.25mm. 鐵銹色、ゐ型網脈狀ノ内種被ガアル。

我國デハ、本州、四國、九州、朝鮮、臺灣ノ至ル所ニ生ジ、多ク濕地ヲ好ム。

海外デハ滿洲國ニ産シ、東亞特産ト云ヘル。

本種ハ、元來、歐洲産ノ *Juncus effusus* LINN. (第 23 圖 K-N) ノ變種ト考ヘラレテキタ。所ガ、*J. effusus* ノ外國デ見テ來ラレタ中井先生ノ御話ニヨルト、我國ノトハ 全ク違フモノダサウデアアル。ソレデ色々記載ヲ讀ンダリ圖ヲ見タリシテ、散々頭ヲ悩マシテ考ヘテ見タガ、ドウモヨクソノ區別ガ判ラナカツタ。ソウ云ハレヤソウカナト云フ位デ、ピント來ナカツタ。コレジヤイカン、ドウシテモ區別ヲツケナケリヤ、申譯ガ無イト色々ヤツテ見タ揚句、ドーニカコーニカ（コジツケカモ知レヌガ）區別點ヲ見出シタノガヤツト 最近ノ事デアアル—氣ガツイテ見ルト、何ノコツタと思フ程變哲ノ無イモノデ、誠ニ自分ノ無能ヲ自ラ笑ツテ見タクナルノダガ。シカシコノ自分ノ區別點ハ教室ノ腊葉庫ニアル僅カバカリノ外國ノ標本ト邦産ノモノトヲ比較シタノデアアルカラ、或ハ間違ツテキルカモ知レナイガ、コレハ平ニ御容赦ヲ願ヒタイ。サテソノ區別點ト申スノハ、次ニ述ベル 4 點ト見タハ僻目カ——(1) 薹ノ長サ、一邦産



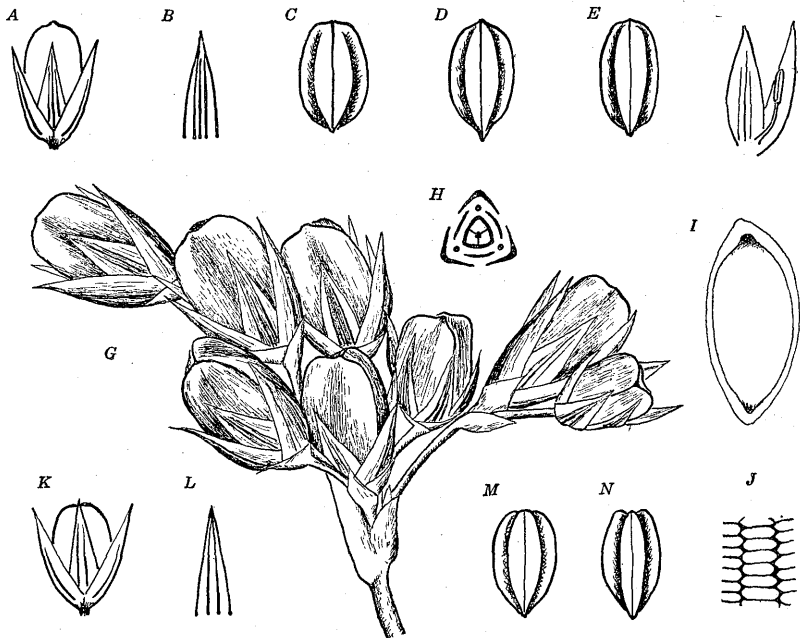
第 22 圖 ゐ (*J. decipiens* NAKAI) ノ全景 ×ca.  $\frac{1}{3}$ . 1888 年四國デ採集サレタモノ。採集者不明。

ノモノデハ薹ハ常ニ花被片ヨリ長イ、然ルニ外國産ノ *J. effusus* デハ薹ハ花被片ト同長ノ場合ガ多ク、稀ニヨリ短イ事モアルガ、殆ンド決シテ長クハナラナイ。(2) 薹ノ形、一薹ハ橢圓形ガ最モ多ク、稀ニ稍卵狀ヲナス事ガアルガ、外國産ノヤウニ倒卵狀ヲナスコトハ殆ド無イ。所ガ外國産ノモノハ、倒卵狀ヲナスモノガ多イ、又橢圓狀ヲナスモノデモ基部ガ次第ニ細マル事ガ多イ。(3) 心皮ノ形、一邦産ノモノハ心皮ハ橢圓形デ、先端ハ多ク短カイ乳狀突起ヲナス事ガ多イ、然シ外國産ノモノハ、心皮ハ橢圓形又ハ倒卵形ヲナシ、先端ハ圓狀又ハ凹狀 (retuse) ヲナスモノガ多イ。(4) 花被片ノ脈、一外國産ノモノハ花被片ノ脈ハ 2 脈シカ見エヌガ、邦産ノモノハ明カニ 3 脈ヲナス。

花部ノ區別ハ以上ノヤウデアアルガ、一寸見ルト外國産ノモノハ莖モ太ク長ク

壯大ノ感ガアル。

我國固有ノ疊表ヲ作ル原料トシテ多ク栽培サレ、ソノ品種等モ多クアルコト  
ト思フガ、ソレハ私ノ領分デハ無イカラ茲デハ御免ヲ蒙リ、唯二品種ニ就テノ  
ミ一寸書キ添ヘル事ニスル、一ツハ



第 23 圖. A-H ゐ(*J. decipiens* NAKAI); A. 成熟シタ蒴果ヲ有スル花; B. 内花被片、3 脈アリ; C-E. 蒴果ノ側面圖; F. 内外花被片ヲ内側カラ見タ所、1 雄蕊が見エル; G. 花序ノ一部; H. 花式圖. I-J. ひめゐ(*J. decipiens* var. *gracilis* NAKAI); I. 種子; J. 内種被ノ網脈. K-N. *J. effusus* LINN.; K. 成熟シタ花; L. 内花被片、2 脈アリ; M-N. 蒴果ノ側面圖. G =  $\times 8$ ; A-F, K-N =  $\times$  ca. 6; I =  $\times$  ca. 33; J =  $\times$  ca. 66.

こひげ (*J. decipiens* f. *utilis* SATAKE in Journ. Fac. Sci. Imp. Univ. Tokyo. Sect. III. Vol. IV. Part 2 (1933) p. 177) デ、全株細瘦デ、花序ハ少数ノ花ヨリ成ル、一見極メテ貧弱ニ出來タモノデ、牧野先生ニヨリこひげ *J. effusus* var. *decipiens* f. *utilis* ト名附ケラレタモノデアル、ゐノ學名ガ *J. effusus* デナク *J. decipiens* ニナツタノデ以上ノ様ナ新組合トナツタノデアル。モウ一ツハ

らせんゐ (*J. decipiens* f. *spiralis* SATAKE, l. c. p. 177) デ、ソノ莖ガ螺旋狀ニクルクルマガツテキル所カラ、らせんゐ *J. effusus* var. *decipiens* f. *spiralis* ト牧野先生ニヨツテ命名サレタモノデアル。コレモゐノ學名變更カラ以上ノ新組合ガ行ハレタノデアル。コレハ始メ牧野先生ガ伊賀國デ見ツケラレタノデアルガ、今デハ各地ニ廣ク栽培サレテ、東京ノ夜店等ニモ出現スルヤウニナツタ。マタ前川理學士ノ御話ニヨルト同氏ガ昭和八年夏、新潟地方ニ旅行サレタ時、同地方ノ人ガ「コノらせんゐハ大部以前カラ同地方デ栽培サレテキル」ト云ツテキタサウデアルカラ、コノモノハ古クカラ地方デ栽培サレテキタノデハアルマイカト考ヘラレル。

ゐノ自生變種ガ二ツアル、一ツハ平地ニアツテ花序ガ密ニ集ツテ球狀ヲナスたまゐ、モウ一ツハ山地ニ生ジテ體ノ細弱ノモノひめゐデアル。

## 12. た ま ゐ

*Juncus decipiens* NAKAI, var. *glomeratus* SATAKE in Journ. Fac. Sci. Imp. Univ. Tokyo, Sect. III. Vol. IV. Part 2 (1933) p. 178.

*J. effusus* var. *decipiens* f. *glomeratus* MAKINO in Bot. Mag. Tokyo XII. (1898) p. 163.

*J. effusus* var. *compactus* (non LEJEUNE et COURT.) NAKAI, Rep. Veg. Chiisan (1915) p. 25, et Rep. Veg. Apoi (1930) p. 76; MIYABE et KUDÔ, Fl. Hokkaido and Saghal. III. (1932) p. 299.

大體ゐニ似テキルガ、花序ハ多數ノ花ガ密ニ集マツテ球狀ヲナスノデアル。コノ果實ノ色々ノ性質ハ殆ド全クゐノソレニ同ジク、ゐヲ *J. effusus* カラ離シテ考ヘルナラバ、コノモノモ矢張り *J. effusus* var. *compactus* ニ當テナイ方ガイ、ト考フルノデ前記ノ新組合ヲ行フタノデアル。

北海道、本州、朝鮮ニ産シ、ゐト同ジャウナ場所ニ生ズル。

## 13. ひ め ゐ (第 23 圖、I—J)

*Juncus decipiens* NAKAI, var. *gracilis* NAKAI, Rep. Veg. Daisetsuzan (1930) p. 60; MIYABE et KUDÔ, Fl. Hokkaido and Saghal. III. (1932) p. 299.

*J. effusus* var. *decipiens* f. *gracilis* BUCHENAU ex MATSUMURA, Ind. Pl. Jap. II. (1905) p. 184.

基本種ニ似テキルガ、體ノ細弱ニシテ、平地ニ生ゼズ山地ニ生ズルヲ常トスルノデ區別サレル。基本種トノ差違ハ單ニ之丈デアツテ、他ニハ何等異ナル所ガナイ、ダカラ、モシゐノ貧弱ナ標本ヲ持つテ來ラレルトひめゐト全ク區別ガ

ツカナクナル。ドウカシテ、何カイ、區別點が見ツカリハシナイカト色々ヤツテ見タガ、無理ニ云ヘバ、ゐノ種子ハ下部（即チ胎坐ニツク部分）ガヤ、鈍形ヲナスガ、ひめゐノ種子ハ、下部ガ凸形ヲナス、ト云ヘル位ノモノデ、全く同じデアル。コレヲ見分ケル事ハ、ゐト *J. effusus* トヲ區別スルヨリモ一層ムヅカシイ事デ、私ハ遂ニサジヲ投ゲテシマツタ。ムシロ、ひめゐハ（マタたまゐモ）單ナルゐノ form ニ過ギナイノデハナイドラウカ？ 諸賢ノ御教示ヲ乞フノミデアル。

我國ノ特産デ、樺太、千島、北海道（渡島、石狩一大雪山、日高一アボイ山）本州（恐山、八甲田山、磐梯山、駒ヶ岳—越後、伊吹山、戸隠山、妙高山、御嶽山）、四國（コーツ山—阿波）ニ産スル。（コノ項續ク）

## おかめざさ屬ノ葉ノ「アッセンビルド」ニ就テ

大 木 麒 一

Kiichi OHKI: On the Spodograms of the Leaves of the  
Genus *Shibataea* MAKINO

### I. 緒 言

著者ハ昭和六年、植物研究雑誌第七卷第 199—203 頁ニやだけ *Pseudosasa japonica* MAKINO ノ葉ノアッセンビルド（灰像）ノ概要ヲ記述シタガ今度ハおかめざさ屬ノ葉ノアッセンビルドヲ記シタイト思フ。

コノ屬ニハ本邦特産ノおかめざさと支那ニ産スルとうおかめざさノ二種ガアル。

とうおかめざさは理學士御江久夫氏ガ支那ノ浙江省デ初メテ發見採集セラレタモノデ、中井先生ハソレニ *Shibataea chinensis* NAKAI とうおかめざさナル新シイ名稱ヲ附ケテ本年六月、本誌第九卷第 85 頁デ公表サレタ。

とうおかめざさは葉ノ裏面ト葉鞘ノ肩ニ毛が見エナイカラ、ソレヲ有スルおかめざさと容易ニ區別スルコトガ出來ル。著者ハコノ二種ノ葉ノアッセンビルドニ現ハレタ性質ヲ研究シテソノ相違ヲ探究シヨウト欲スルモノデアル。

### II. 實 驗 ノ 方 法

葉ヲ燒イテ得タ白色ノ灰ヲ材料トシテ其「プレパレート」ヲツクル方法並ニ